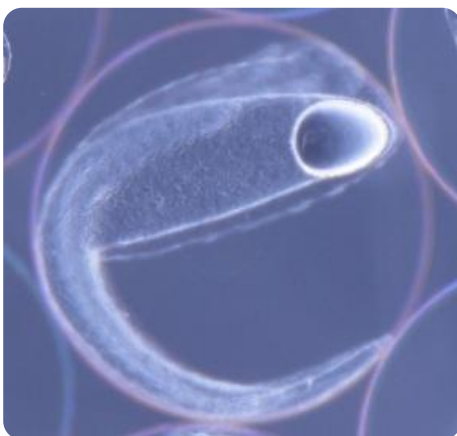
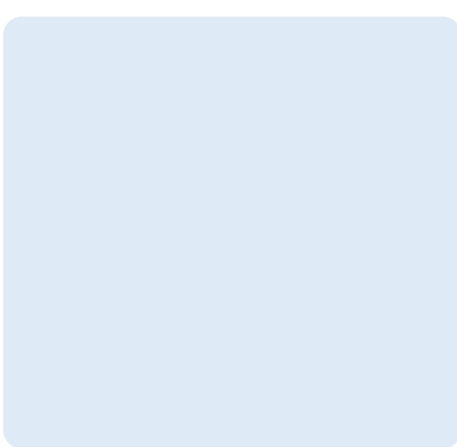
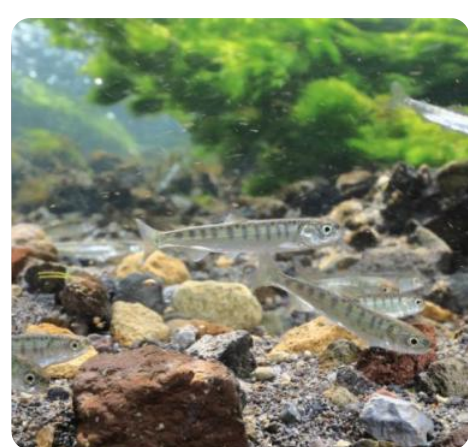
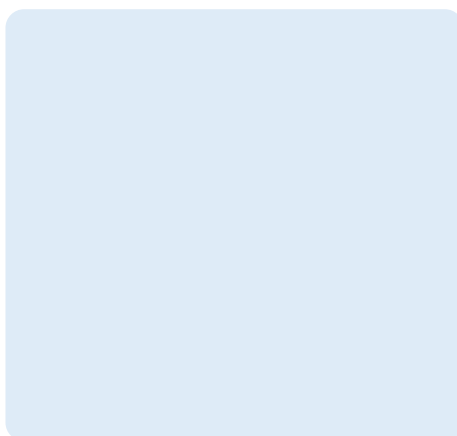




**国立研究開発法人
水産研究・教育機構
採用案内 2026卒向け**

～事務職・技術職・研究開発職～



目次

▪ 組織概要	01
▪ 職種紹介・先輩職員へのインタビュー	02
※先輩職員へのインタビューの内容は、令和元年10月に実施した内容を元に作成しています。	
▪ 先輩職員からのメッセージ	09
▪ 勤務条件・支援制度・勤務時間・休日休暇・勤務地	10
▪ 子育てに関する支援制度・研修・人材育成制度	11
▪ 採用までの流れ・応募者数・採用者数	12
▪ 採用試験情報・受験手続きの流れ	13



■ 組織概要

当機構は、水産物の安定的な供給と水産業の健全な発展に貢献するために、水産分野における研究開発と人材育成を推進する、我が国唯一の水産に関する総合的な国立の研究機関です。

当機構で働く職員は、研究開発を進めるための研究開発職、それらを支える事務職、技術職、船舶職、さらには水産業を担う人材の育成を図る教育職と幅広く、各分野での経験や資格を生かした活躍が可能です。

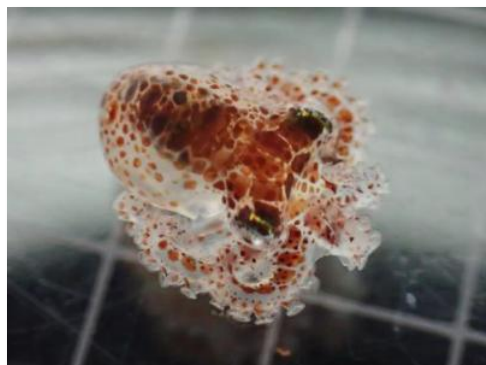
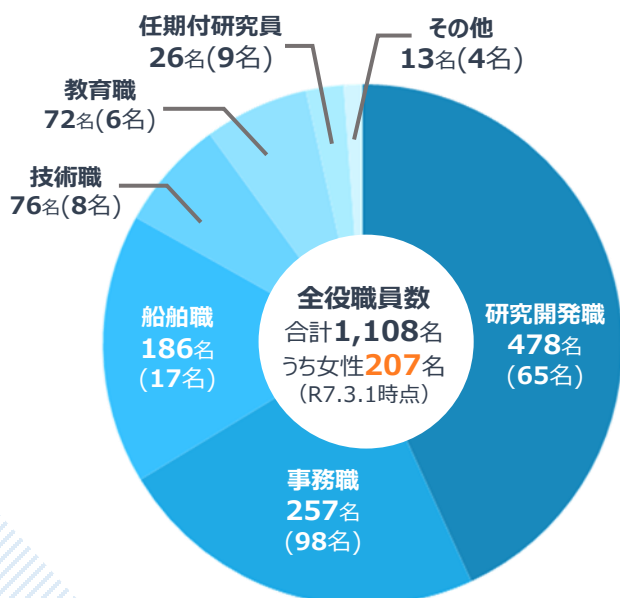
現在、水産資源研究所、水産技術研究所、開発調査センター、水産大学校、それに付属する各付属施設やさけます事業所が全国に配置され、それぞれの業務を行っています。

設 立 平成28年4月1日
(国立研究開発法人水産総合研究センターと独立行政法人水産大学校が統合して設立)

理 事 長 中山 一郎

職 員 数 1,176名
(男性962名、女性214名)
※令和7年3月1日現在

全役職員数 1,108名 (R7.3.1現在)
※ 役員9名、再雇用者59名を除く
※ 図中 () 書きは、女性数を表し内数



全国施設配置

本部・開発調査センター・水産資源研究所の本所が所在する横浜市、水産技術研究所の本所が所在する長崎市、水産大学校が所在する下関市その他、北は北海道、南は沖縄まで全国に研究拠点を有しています。



■ 職種紹介 ① 事務職



事務職は、当機構をバックオフィスから支える、「縁の下の力持ち」です。研究者をはじめとする職員が円滑に業務を進めるにあたり、物品・役務の調達等といった業務や、職員とその家族が安心して暮らすための社会保険の手続き業務等といった庶務業務など、業務の幅は多岐にわたります。2～3年の頻度のジョブローテーションで、様々な業務に携わることができ、オン・ザ・ジョブトレーニング方式で未経験の業務でも知識豊富な上司・先輩から日々、丁寧に仕事を教わりながら少しずつステップアップしていくのを実感できます！

主な業務

- ・経営企画、人事、労務対策
- ・広報、情報セキュリティ、知財管理
- ・庶務、経理、契約業務
- ・水産大学校における学生の支援

ほか

求める人材像

組織の運営に不可欠な多種多様な業務を担うので、さまざまなポストにおいて、周囲との円滑なコミュニケーションを図り、意欲的に業務に取り組むことが出来る人材を求めています。

採用後

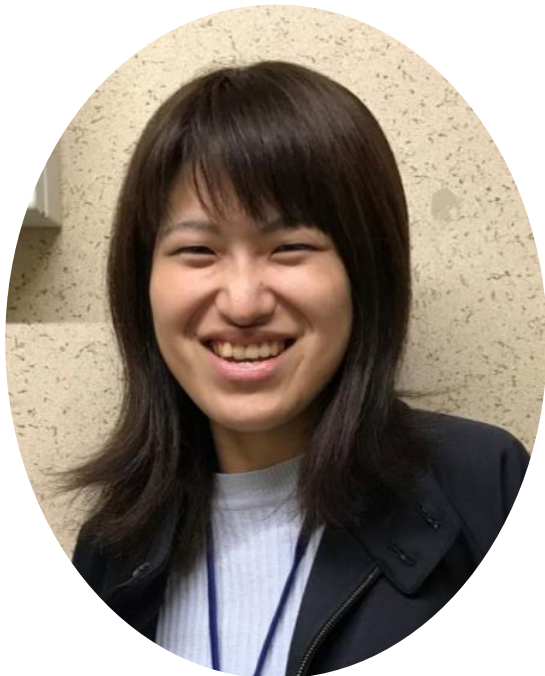
機構本部・各研究所及び水産大学校のいずれかに配属され、教育・研究業務が円滑に推進できるよう、職員の給与・福利厚生、旅費、物品役務等の契約事務の業務などを行っていただきます。その後は適性等を鑑みて、様々な環境やポストでの活躍の機会を設けています。



先輩職員へのインタビュー

▶Interviewer

水産資源研究所塩釜庁舎 管理チーム 用度担当
(旧：東北区水産研究所 業務推進部 業務管理課)
採用年・2017年
H.W さん



▶ある日の1日

6:30	起床
8:30	出勤 メールチェック、1日のスケジュールを確認します
10:00	支払処理 月末や月初めは沢山の請求書類が業者から届きます。 支払い書類に抜けや漏れはないか、しっかりと確認を行います！
12:00	昼食・釣り 職場の近くには海があり、毎日お昼休みに釣りをします。この前は15cmのハゼを釣り上げました！
13:00	納品確認 発注した物品がきちんと納品されているか、型番、個数、書類と照らし合わせながらしっかり確認します。
17:15	業務終了
18:30	買い物・帰宅 なるべく自炊をするように心がけています。…が、給料日後には外食に出掛けることも…！！
23:00	就寝

Q.現在はどうような仕事をしていますか？

- A. 研究所の契約業務を担当しております。文房具などの消耗品類の調達のための契約はもちろん、廃棄物の処理や会議の会場手配といった役務の契約も行っています。規程や法律等の根拠に基づいた合理的な調達が行えるように、日々考えながら業務を進めています。

Q.職場の雰囲気はhowですか？

- A. 仕事において困った時には、直属の上司のみならず、先輩や課長にも相談に乗っていただいています。また仕事を進めるにあたり、部署の垣根を越えてコミュニケーションをとりやすく、皆さんが優しいアットホームな職場です。たまにある飲み会では、色々な部署の方と交流することがあります。休日も職場の先輩や同僚と、スキーや釣り、近場の観光スポット巡りなどをして遊びに行くことが多いです。

Q.この仕事をやっていて嬉しかったこと、やりがいを感じたことはありますか？

- A. 物品や役務の調達を行った際、研究者や船舶職員、技術職員の方々から“ありがとう”とお礼を言ってもらえた時が嬉しかったです。水産業について触れる機会があることや、業務を通して行政や法律への知識を広げられることに、とてもやりがいを感じます。

■ 職種紹介 ② 技術職



技術職は、魚の飼育のスペシャリストを目指し、現在殆どの技術職の職員は北海道内の各さけます事業所にてサケの受精卵の段階から稚魚を放流するまでのふ化放流業務を行っています。親魚の蓄養、選別、採卵、受精などの技術もふ化放流における大切な要素です。これらも積極的に経験することで技術の研鑽に努めています。

主な業務 (さけます分野)
・我が国のさけます類の個体群維持のためのふ化放流の実施と技術開発 ほか
(増殖分野)
・様々な魚種を対象とした親魚の養成、種苗生産、育成、放流の実務 ほか

採用後 (さけます分野)
北海道内のさけます事業所にて勤務し、ふ化・放流技術等を習得するとともに、我が国のさけます類の個体群維持のためのふ化・放流事業に携わっていただきます。

求める人材像 地域の漁業関係者との交流も多く、円滑なコミュニケーションができ、大学等での専攻に関わらず、魚類の飼育管理に関心と意欲を持っている人材を求めています。



先輩職員へのインタビュー

▶Interviewer

水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部
 (旧：北海道区水産研究所 さけます生産技術部)
 虹別さけます事業所
 採用年・2017年
 T.Y さん



▶ある日の1日

6:00	起床
8:30	出勤・見回り 育てている稚魚に異常はないか？ 病気になるような元気のない稚魚は いないか？ 今日も、みんな元気に泳いでいます！
9:00	サケの調査・モニタリング 今日の午前は河川の実地調査です。同僚と公用車で河川に向かいます。地元 の漁師の方にも漁海況を聞き取り調査 します。
12:00	昼食
13:00	モニタリングデータの取りまとめ・ 稚魚の世話 池掃除や稚魚の移動作業などの力仕事 もありますが、職員みんなで手分けし て作業を行います。
16:00	見回り 稚魚に異常はないか？ 設備に異常はないか？ 1日最後の見回りです。 明日の朝まで元気でいてね！
17:15	業務終了
23:00	就寝

Q.現在はどういった仕事をしていますか？

- A. さけます類のふ化放流に関わる技術開発に携わっています。放流河川に回帰した親魚から採卵・授精し、河川や沿岸の環境を調査しながら、稚魚の生育に適した時期に、健康な稚魚を放流できるように育て上げます。
 放流する全ての稚魚には耳石温度標識（発眼卵に温度刺激を与えると、耳石に年輪様のマークが付く）を施し、どういった放流パターンの稚魚の回帰が良いのかを調査し、水研機構の他の部署や道県の担当者とも連携しながら、職員一丸となってサケの資源回復に向けて取り組んでいます。

Q.職場の雰囲気はどうか？

- A. 現在は2箇所目の事業所勤務ですが、少人数の職場なので職員同士のコミュニケーションが良く、和気藹々とした雰囲気です。仕事のオンとオフはしっかりしていますが、休日も職場の上司や同僚と一緒に、北海道の豊かな自然の中でのアウトドアライフを満喫しています。

Q.この仕事をやっていて嬉しかったこと、やりがいを感じたことはありますか？

- A. 東京都の出身で雪国での生活は初めてで不安でしたが、職場の方々が親身になって生活のアドバイスをしてくれたことが嬉しかったです。また、職員が一丸となり、ほぼ一年にわたって手塩にかけた稚魚を、無事に河川へ放流できた時は、やはりやりがいを感じます。

■ 職種紹介 ③ 研究開発職



研究開発職は、水産に関する基礎から応用、実証に至る研究開発を一貫して行う総合的な研究開発を通じて、水産基本法の基本理念である「水産物の安定供給の確保」と「水産業の健全な発展」に貢献しています。

主な業務

- ・各研究所等における研究・開発・調査
- ・研究開発の企画・立案、
- ・地域や産学官との連携、広報 ほか

求める人材像

水産に関する科学・技術の各分野（水産資源、水産海洋、水産増養殖、水産工学、水産利用・加工、水産経済等）の研究開発を担う人材として、それまでの経験に限らず新しい課題へも積極的にチャレンジする意欲的な人材を求めています。

採用後

生物学や生態学、数理統計学等を基礎に、水産資源評価や漁海況予測などの実務を通じて、水産資源の持続的利用技術の開発や効率的な漁業生産技術の開発、当機構の持つ水産生物の飼育・培養技術を継承・発展させ、新しい種苗生産技術や効率の高い養殖技術の発展を行うなど、それぞれの専門分野において基盤から応用、実証化に至る幅広い研究開発を推進していただきます。



先輩職員へのインタビュー

▶Interviewer

水産資源研究所 水産資源研究センター
(旧：中央水産研究所)

採用年・2017年

Y.H さん



▶ある日の1日 ※裁量労働制を利用

8:00	起床
9:00	自宅を出発
10:00	出勤 モデリングや統計解析など 比較的頭を使う作業はなるべく午前中に！
12:00	昼食・サッカー
13:00	論文・報告書執筆など 辞書や教科書も参考にしながら、進めていきます。
14:00	打合せ・文献調査
15:00	メールチェック・資料整理 メールの読み落としが無いように、 落ち着いた時間帯にもう一度確認します。
17:00	退勤、自由時間

Q.現在はどういった仕事をしていますか？

A. 我が国の重要な水産資源(クロマグロ、マサバ等)について、新たな漁業法に基づく資源管理を行うことで想定される資源や漁業に対する影響を明らかにするために、聞き取り調査や文献調査、モデリングを通じたコンピュータシミュレーションを行っています。

Q.職場の雰囲気はどうか？

A. 所属先にもよるのだと思いますが、私が所属する資源研究センターは人数も多く、近年若い人も増えてきていると聞いています。同じ職場ではまだ自分より年下の研究者に出会ったことがありませんが、年上の研究者の方々も親しみやすく、今のところ人間関係で困ったことはありません。昼休みは、サッカー・卓球・バドミントンなど多様なレクリエーションを、センターや年代や男女の垣根を越えて皆が和気あいあいと楽しんでいます。ぜひ一緒にサッカーしましょう！笑

Q.この仕事をやっていて嬉しかったこと、やりがいを感じたことはありますか？

A. 公的な研究機関なので、水産政策に直に関わる研究ができることは大きな魅力だと思います。他方で、漁業の現場である漁村に出向く際には、漁業者からは、どうか浜の声を届けてほしいと励ましのお声をいただくことも多々あり、その度にやりがいを感じます。
・・・などなど偉そうなことを言ってしまいましたが、おいしい魚を食べる機会が増えたのが結局のところ何よりのやりがいですね。笑

■ 職種紹介 ④ 船舶職



各研究所・水産大学校所属の調査船・練習船、又は本部船舶管理課(船舶予備員)に配属され、安全な航海と適切な船舶維持・管理ができるように、担当する業務を行っていただきます。沿岸を含む日本周辺海域から遠洋海域において調査船や練習船を運航し、生物資源調査や海洋環境調査などの調査研究ならびに水産に関わる人材の育成を行います。

■ 職種紹介 ⑤ 教育職



水産の技術や経営、政策等に関する幅広い見識と技術を身につけた人材、実学に立脚した人材、社会人基礎力を身につけ、創造性豊かで水産現場での問題解決能力を備えた人材を育成するための教育・研究を行います。水産大学校のそれぞれの学科において、水産業に貢献する人材の育成及び教育を行っていただきます。

■先輩職員からのメッセージ

こちらのページでは、先輩職員へのインタビューで協力を頂いた3名の先輩職員から、これから機構で働きたいと考えている皆さんへのメッセージやアドバイスを紹介しています。



必須ではないとはいえ、きちんとしたビジネス用語やビジネス英語を覚えておくよかったと思います。

（私の場合、採用されたばかりの頃は、「決裁」や「リバイス」の意味も分からず、用語の意味や使い方などをインターネットで調べたり、上司に聞いたりしました…。）

法律知識もあると仕事に役立つかと思います！

また、機構の研究所の一般公開に行ってみると、雰囲気が良くわかり良かったかもしれません。

近くに研究所の一般公開が開催されていたら、積極的に遊びに行ってみましょう！



各都道府県や民間増殖団体等、様々な人と交流する機会がありますが、例えばふ化放流事業の基本である良質な種卵を確保するためにはコミュニケーション能力や交渉力が求められます。

ですので、学生のうちから色々な人と交流する機会を持つことや、どんな人ともコミュニケーションをとれる能力を身につけて欲しいと思います。



私の場合、就職して初めの1年目は比較的時間があったのですが、2年目からは色々な仕事に関わらせてもらえるようになったため、論文を読んだり勉強したりする時間を捻出するのに苦労しています。

これは私の考えですが、効率的に仕事をこなすためにはもちろん慣れも必要ですが、あらかじめその分野に関する知識が多だけで随分楽になるかと思っています。

…ということで、時間がある学生のうちに、水産に関する知識の他にも、英語や統計解析など身に付けておくことをおすすめします。常に辞書や教科書を眺めながら仕事をこなすのではなく、仕事を効率的にこなして次のスキルアップに向けた勉強もできるようにになれば、かなりのアドバンテージがあると思います。

さらに、自分が何のためにこの研究をしたいのか、将来どんな研究者を目指したいのか、学生のうちによく考えてイメージを持っておくとういことだと思います。

どうしても仕事が始まって忙しくなってくると、そうした大事なことを考える時間すら惜しくなりがちなのですが、自分を見失わないためにも先に根幹を固めておくのがよいかと思っています。

勤務条件

職種	初任給（月額）		期末・ 勤勉手当	諸手当
事務職	220,000円		年間4.6ヶ月分 （年2回： 6月、12月） ※令和6年度実績	・扶養手当 扶養家族のある者に、1人あたり 月額6,500円～10,000円
技術職	220,000円			・住居手当 限度額28,000円。 ※家賃月額により変動
研究開発職	大卒	246,200円		・通勤手当 通勤距離等に応じて支給
	修士	269,500円		・地域手当 支給対象の勤務地に勤務する場合、 給与額の3～16%
	博士	300,800円		など

※事務職・技術職は大卒初任給の金額となります。修士・博士卒は上記に上乗せされます。
 ※初任給の金額は、新卒者の俸給月額であり、既卒者は職歴等によりこの額に上乗せされる場合があります。
 ※国立研究開発法人水産研究・教育機構職員給与規程に基づき決定（国家公務員の給与と同水準の給与が支給されます。）

勤務時間・休日休暇・勤務地

勤務時間

1日 7時間45分勤務（月曜日～金曜日の午前8時30分～午後17時15分（休憩60分））
 ※横浜市内に所在する事務所では、通勤混雑緩和のための時差出勤制度もあります。

休 日

土、日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

休暇制度

年次有給休暇（採用された年は15日付与、以降は年20日を繰越限度とし最大年間40日）、病気休暇、夏季休暇、結婚休暇、忌引き休暇、産前産後休暇、看護休暇、育児休業、介護休業 など

勤務地

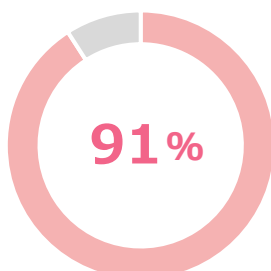
機構本部、各研究所（各研究所の付属施設を含む）及び水産大学校のいずれか

子育てに関する支援制度

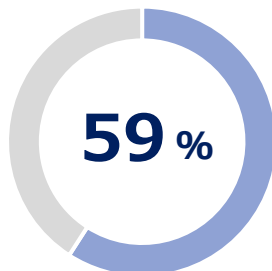


当機構は、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が優良であると認められ、2021年3月23日付で神奈川県労働局長より「えるほし」の認定を受けました。

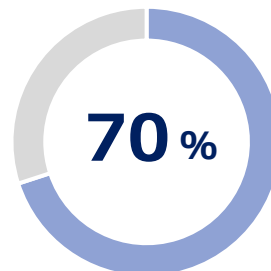
当機構は、男女共同参画に向けて、出産・子育てに関する環境整備に取り組んでいます。



育児休業取得率
(女性職員)



育児参加休暇取得率
(男性職員)



配偶者出産休暇取得率
(男性職員)

※令和5年実績分

※育児休業(男性職員)は、配偶者の出産で当該休暇を取得可能となった男性職員のうち、実際に育児休業を取得した人数の比率

この他にも、子育てに関する支援制度として

・産前産後休暇 ・育児短時間勤務 ・看護休暇

などがあります。また育児休業から復職し、子育てと仕事を両立しながら活躍する女性職員も多数います。

研修・人材育成制度

研 修

新規採用者研修、管理職研修、評価者研修、OJT制度等、職員のキャリアに合わせてそれぞれのキャリアに必要なスキルや意識の向上を目的とした研修を行っています。

人材育成

自己のキャリア形成の希望や目標を基にキャリアデザインシートを作成し、それを基に上司との面談を通じ、職員の意欲、適性、能力を伸ばしながら、幅広い視野のある人材を育成します。

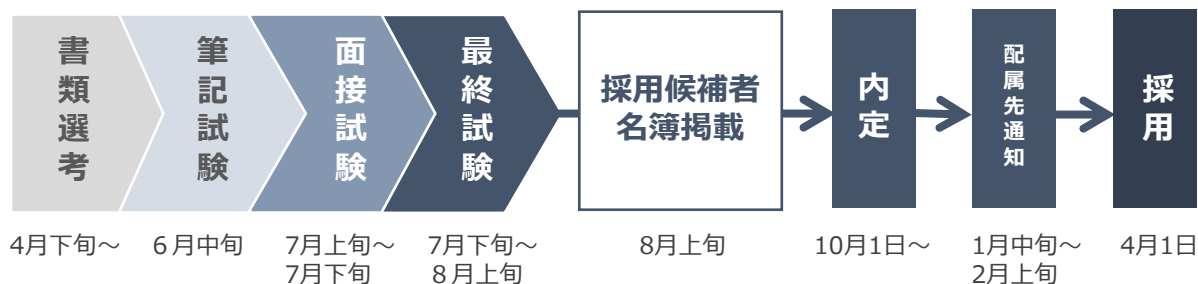
自己啓発

業務上必要な資格取得や講習会受講に係る費用負担の支援、自己啓発休業制度（職員の自発的な大学（国外含む）における修学又は国際貢献活動のための休業）ほか



上：令和元年新規採用者研修の様子。普段はなかなか会えない同期と親睦を深められます。

採用までの流れ



(注) 上記日程は現時点での目安の時期となります。詳細な日程は各募集要項をご確認ください。

最終試験に合格した方は、筆記・面接・最終試験の成績を総合し、成績の高い順から、【採用候補者名簿】に掲載されます。この名簿には辞退者も見込んで多めに合格者を選出し掲載しますので、名簿掲載されることが必ずしも採用に至るものではありません。

名簿に掲載されている上位の方から、当機構の採用について意思確認を行い、意思確認が取れた方から内定をお出しさせていただきます。

また、新規採用者の配属先は、職員の人事異動と一体で考える必要があるため、配属先の決定にはお時間を頂くことになります。配属先通知の際に、採用手続きに必要な書類や、移転料、宿舍の手続きなどをご連絡させていただきます。

応募者数・採用者数

年度	事務職		技術職		研究職		船舶職		教育職		計	
	応募	採用	応募	採用	応募	採用	応募	採用	応募	採用	応募	採用
R5	54	2	25	1	53	16	23	14	5	4	160	37
	(23)	(2)	(4)	(0)	(8)	(2)	(4)	(3)	(1)	(0)	(40)	(7)
R4	118	15	20	7	69	20	10	6	42	5	259	53
	(42)	(9)	(3)	(1)	(16)	(4)	(2)	(1)	(3)	(1)	(66)	(16)
R3	66	4	23	4	89	17	14	5	12	3	204	33
	(33)	(2)	(4)	(0)	(22)	(4)	(5)	(2)	(2)	(0)	(66)	(8)

注) 表中()内は女性数を表し、内数

注) 研究開発職については選考採用の応募者・採用者を含む



■ 採用に関するQ&A

Q1. 最新の採用情報はどこで確認できますか？

A1. 当機構の『職員採用情報』ページにアクセスをお願いします。

▼アクセスはこちらから▼

<https://www.fra.go.jp/home/saiyo/shokuin/index.html>

Q2. 採用試験の内容は？

A2. 国家公務員の採用試験に準じたマーク式の基礎教養試験（社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文書理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能を問われる）の後、研究開発職及び技術職は専門試験（水産基礎知識に関する記述試験）、事務職は論文試験（時事小論文）が実施されます。

Q3. 研究開発職と技術職のどちらにも興味があります。同時に応募する事は可能ですか。

A3. 令和7年度職員採用試験につきましては、職種の併願ができません。
また、研究開発職と技術職では大きく業務内容が異なります。それぞれの職種の違いをしっかりと理解したうえで、自分がどんな仕事をしたいのか明確なビジョンを持ってから採用試験に臨んで頂けると嬉しいです。

Q4. 配属はどの程度希望をとって頂く事が可能ですか。

A4. 新規採用者の配属先は、現職の職員の人事異動と一体で考えています。
新規採用者の配属先希望につきましては、現時点で検討中となっております。

Q5. 採用されてすぐに、自分の興味のある研究をすることができますか。

A5. 科研費への応募で自分の興味のある研究分野について研究を行う事は実施可能ですが、機構の中長期計画から大きく逸脱する研究をすることはできません。
（採用直後だと難しいと思います。）

Q6. 事務職として勤務する上で身につけておいた方が良いスキルなどを教えて欲しいです。

A6. データの集計をする機会が多いため、Excelの集計に関する関数（VLOOKUP、IF関数、ピボットテーブル等）を使えると仕事の幅が広がると思います。また、経理に関わる業務に携わる機会が多くあるので、簿記の知識があると業務全体の流れをつかみやすいと思います。

Q7. どのような人が活躍されていますか。

A7. どの職種や職場でも共通して言えることだと思いますが、1人で完結できる仕事はありません。チームで研究を進めたり、魚を飼育したり、機構の業務に携わったりする事となります。このため、協調性のある方、なおかつ自分の意見を隠さず、よく聞き上手に相手と伝えられ、協力し合える方が沢山活躍されています。

Q8. 大学院への進学を考えている。機構では大学院に進学された方は何名ほどいるか？

A8. 大学院に進学された後、機構に就職した方も多数いらっしゃいます。令和5年4月に採用された9名の方のうち、大学院（博士課程含む）進学後に採用された方は9名でした。研究開発職員では、採用後に社会人大学院で学び、学位取得を目指している方もいます。

Q9. 機構で研究を行っていくために大切なことがあれば教えてください。

A9. 専門分野に関してはもちろんのこと、浅くてもいいので法学と経済学に関する知識、自身の研究成果に関して各種契約や特許出願等を自らの判断で進める必要があるため、関係法令について専門家の話を聞ける程度に学習するのが望ましいです。

■ 受験手続の流れ

1. 募集要項を確認

詳細な募集要項を当機構HPに掲載しております。
また、2025年度は、
【マイナビ2026】にも募集要項の掲載を行っております。



▲水産研究・教育機構ホームページ
上部のバーより採用情報を選択し、
「職員採用情報」よりご確認ください

2. エントリー

マイナビ2026からエントリー
頂いた方に、採用選考用のマイ
ページについてご案内いたしま
す。

上記ナビサイトに登録ができな
い方は、新規登録よりマイペー
ジ登録をお願い致します。

マイページから、エントリー
シートや募集要項についてご確
認ください

3. 応募

4/23
まで

マイページにアクセス
いただき、エントリー
シートのご入力をお願い
いたします。エントリー
シートの提出をもって、
応募完了といたします。



沢山のご応募
お待ちしております！

より多くの皆さんに応募を検討して頂くため、メール・郵送での受付を停止します。
マイナビ2026よりエントリーをお願いいたします

(注1) 募集要項の応募上の注意事項をよく読んでご応募ください。

(注2) ③卒業（見込）証明書および④成績証明書は、筆記試験通過者のみ、面接試験前までに郵送をお願い
させていただきます。その場合、提出書類は一切返却致しません。

(注3) ご提出頂いたデータは厳正に管理し、選考・採用にのみ使用し、それ以外の目的では一切使用致しません。

(注4) 必要書類・応募方法は職種により若干異なるので、詳細は機構HP記載の募集要項をご確認ください。

募集条件・試験日程等の詳細は当機構HP採用情報掲載の募集要項をご覧ください！

採用に関するお問い合わせは、

水産研究・教育機構 本部
総務部 人事課

TEL : 045-277-0076

E-mail : fra_saiyou@fra.go.jp

水産研究・教育機構の採用情報URLはこちら

<https://www.fra.go.jp/home/saiyo/shokuin/index.html>



採用マイページURLはこちら

<https://mypage.3030.i-webs.jp/fra2026/>

その他、こちらをご覧ください！



当機構の研究内容をわかりやすく紹介しています。
ふらっとらぼ
<https://www.youtube.com/@fralabo>



当機構の概要情報を掲載しています。

(※採用情報も掲載中！エントリー頂いた方にはエントリー
シートの提出方法についてご案内させていただきます！)
マイナビ2026

<https://job.mynavi.jp/26/pc/search/corp226464/outline.html>

